もっと知って欲しい！
魅力ある農業のこと。
ＪＡのこと。

2021
vol.312
3

あとれ

食と地域のパートナー
JA京都やましろ

竹林を開拓する

木津川市 柿本　雅通さん

京たけのこは、食用タケノコの代表種である「孟宗竹」を用いて栽培されます。3月上旬頃から収穫が始まり、春の訪れを感じさせます。
木津川市で京たけのこを栽培する柿本雅通さんにお話を伺いました。

竹林と出会う

柿本さんは5年前に放置されていた竹林を購入してタケノコ栽培をはじめました。
現在は、3年前に追加で購入した隣接する竹林と合わせて約40ａで栽培しています。
また、以前から放置竹林整備の活動を行っているＮＰＯで活動をしており、その活動のなかで、この竹林と出会い、自らタケノコ栽培を行うようになったそうです。
柿本さんは「私の祖父がタケノコの缶詰を製造していたこともあり、タケノコは身近に感じていました。ＮＰＯの活動や就農してタケノコを栽培することも興味があった」と話します。
木津川市では、かつてタケノコの栽培が盛んに

整備前の様子

整備後の様子

行われていましたが、都市開発がすすみ、竹林が減少したことで生産者も少なくなりました。

「タケノコは山の中で栽培するので、イノシシやシカの被害がでることもあるので、獣避けの電気柵の設置など、初期の手間は多いです。私の竹林でもイノシシの被害があり、電気柵を設置しましたが、いまのところシカの被害は無く安心しています」と柿本さんは話します。

開拓をはじめる

購入時の竹林は、古い竹や新しい竹が生い茂っていたものの、土の形などを見ると過去にタケノコが生産されていた気配があったそうで、タケノコ栽培に向けた竹林作りに取りかかります。

柿本さんは「タケノコはウラ・オモテがはっきりしています。親竹として5年を超えると樹勢が落ちて収穫できるタケノコの数は大きく減ります。なので、安定した収穫のために、節が白い比較的若い竹のみを残して、それ以外の竹をすべて伐採しました」と話します。

そして、新しい竹を見分けるために色の付いた紐と年数を書いて管理しているそうです。

伐採すべき竹や樹木が大量にあったので、NPOの仲間や知人に手伝ってもらいながら作業をすすめ、手を広げたまま歩けるほどの間隔で竹が生えている今の状態になりました。

柿本さんはこれまでの作業を振り返り「とにかく大変だったが、これでもまだ半分。古い竹の整理はついてきたが、土入れがまだ十分でない場所がある」と冷静に現状を分析します。

また、これまで手作業で行ってきた竹林開拓の過程から、これからは効率良く作業を行うために機械の導入も検討しているといいます。

今後の課題

「部会を通じた東京出荷を増やすことがこれからの課題だ」と柿本さんは話します。土入れをした面積が徐々に増え、部会を通じて東京出荷できるものも増えていますがまだまだ数を増やしたいといいます。

そして、「この竹林の手入れを始めてから5年が経ち、タケノコの収穫1サイクルが完了しました。しかし、3年前に隣接する竹林を買い足したので、開拓はまだまだ途中です。部会での出荷を増やすにはもう少し整備をすすめなければいけません。5年、10年先を見据えて着実に整備をすすめていきたいです」と話します。

番号を付けた竹の間を運搬機で土を運ぶ

支店からの一言

今後も良質なタケノコを生産していただき、木津川市特産タケノコの普及と、ご活躍されることを期待しています。

木津支店
支店長 田中　重治

TOPIC YAMASHIRO

やましろ地域農業振興にむけて取り組んでいます

抹濃レシピコンテスト グランプリが決定！

賞状を手にする山本さん

1月19日、JAが昨年10月から11月にかけて募集していた「抹濃（まっこい）レシピコンテスト」の審査会を実施し「緑薫る（抹濃クッキーサンド）」山本麻記子さん（京都市）がグランプリに選ばれ、入選作品7点が決定しました。

京都府以外にも関東から九州までの広い地域から262点のレシピが寄せられました。多数のご応募ありがとうございました。

入賞した7つのレシピについては、作り方を紹介する動画を作成し「JA京都やましろ公式㊚ンネル」で公開します。

スイーツ4点、料理3点ありますので、ぜひ一度抹濃をご賞味ください。抹濃はJA農産物直売所やJAホームページ宇治茶navi（URL http://uji-cha.kyoto/）からご購入いただけます。

その他の入選作品は次の通り。

▽準グランプリ＝「生ハムとベーコンの抹茶クリームパスタ」安田端江（大津市）▽抹濃賞＝「抹濃茶（Tea）らみす」柴田ちえみ（宇治市）、「抹濃あっさりビシソワーズ」宇治市在住女性、「レンコン団子の抹濃スープ」奈良市在住女性▽特別賞（18歳以下の部）＝「抹茶感じるラングドシャのバターサンド」外峯果林（京都市）▽特別賞（15歳以下の部）＝「二色の生チョコケーキ」（京都市在住女性）

アクセスはこちらから

グランプリ作品

入選した作品

新採用職員研修会を実施

JAでは2021年度新採用職員8人を対象にした「新採用職員研修会」を実施しました。

研修ではJA事業や勤務の心得について学び、入組前の不安や心配を解消することを目的としています。

新採用職員は、JA事業の柱となる信用・共済・営農・経済の事業内容など各部門担当職員から講義を受けたほか、農協簿記など業務の基礎の習得や農業新聞や家の光を教材として使用してJA職員として必要になる知識の習得をはかりました。

新採用職員はメモをとったり真剣な様子で取り組みました。

新採用職員はさらに、店舗での実地研修やJAグループ京都主催の研修に臨み、4月1日の入組式の辞令を経て配属先で勤務を始めます。

京都府茶品評会

2月5日、第38回京都府茶品評会並びに2020年度京都府優良品種茶園品評会褒賞授与式が行われました。

京都府茶品評会では、和束町（煎茶）、宇治田原町（かぶせ茶）、京田辺市（玉露）、宇治市（てん茶）がそれぞれ産地賞を受賞。

また、日本茶業中央会令和2年度茶業功労者に松井徳之さん（和束町）が、令和2年度関西茶業協議会功労者に吉田祐次さん（八幡市）がそれぞれ選ばれました。

受賞された皆さんにお祝い申し上げますとともにさらなるご発展を祈念いたします。

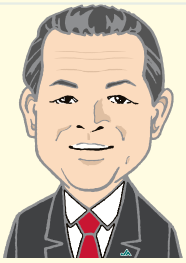
各品評会の主な入賞者は次の通り

【2020年度京都府優良品種茶園品評会】◇幼木茶園の部▽優秀賞1席＝菊岡祐一（城陽市）◇成木茶園・手摘みの部▽優秀賞1席＝菊岡祐一（城陽市）◇成木茶園・機械摘みの部▽優秀賞1席＝北本錦司（南山城村）

【第38回京都府茶品評会】◇煎茶の部▽1等1席＝有限会社グリーン工房和束・東本博利（和束町）◇かぶせ茶の部▽1等1席＝JA京都やましろ宇治田原町茶業部会・勝谷健士（宇治田原町）◇玉露の部▽1等1席＝京田辺玉露生産組合・林昭（京田辺市）◇てん茶の部▽1等1席＝農事組合法人宇治碾茶組合・寺川達也（宇治市）

賞状やトロフィーを受けました

組合長つうしん



2021.3

代表理事組合長

十川洋美（とがわひろよし）

1月理事会で、国連が提唱している2030年をゴールとするSDGs（持続可能な開発目標）の実現に向け、当JAも積極的に取り組むことを宣言しました。

特に私たちに関わる大きな課題は、地球温暖化に起因する気候変動がもたらす大型台風や集中豪雨、更には洪水などの被害を食い止めることです。これは、18世紀の産業革命以降のめざましい経済発展が地球の平均気温を1度高くしたことが原因のようです。この傾向が将来とも続けば、環境問題が深刻化し、化石燃料をはじめ諸資源の枯渇など破局的な終焉を迎えてしまいます。

日本も2050年までにはガソリン車の販売を禁止し、CO_2排出ゼロ社会をめざそうとしているなか、JAがこうした遠大な目標解決に関わることを躊躇していたところ、女性部より日頃の女性部活動の多くが食・農・環境にかかわるSDGsに結びついていることから、JAも共に活動していこうと背中を押されました。

女性部の研修でペットボトルやビニール袋などが焼却やリサイクルをすり抜けて海に流出し、堆積する量が2050年には魚の量を上回り、やがてはマイクロプラスティックとして、魚を通して人間が食べることになると知りました。気軽に捨てる無責任さを1人ひとりが改めることがSDGsの第一歩だと認識させられました。

JAが宣言する以上、次に掲げる取り組みについてできることから少しずつ積み上げていきます。①国民が必要とする食料はできるだけ国内で生産する「国消国産」を基本に、持続可能な食料の生産と地域農業の振興。②農産物直売所を拡充し、地産地消の消費行動を推進し、省エネルギーで持続可能な流通・販売推進。③化学肥料や農薬の適正利用でエコファーマーの取り組みや有機農業を推進し、肥料袋等廃プラの回収など農業生産における環境負荷の軽減。④農業のもつ多面的機能を発揮し、高齢者福祉や健康管理活動、農福連携などに取り組み、安心して暮らせる持続可能な地域社会づくりへの貢献。⑤女性理事・総代等の登用を拡充し、地域の多様な組織と連携した地域創生の推進。

「自然（大地）と人間」の調和のとれた21世紀の持続可能な社会の実現は、まさに私たちの食と農と環境の変革への取り組みにかかっています。

組合員・地域の皆さんとともに

ＳＤＧｓ達成に向けた活動を展開します。

ＳＤＧｓと協同組合

協同組合は、2016年に「共通の利益と価値を通じてコミュニティづくりを行うことができる組織」としてユネスコ無形文化遺産に登録されました。日本には、農業協同組合や生活協同組合、労働者協同組合、労働金庫などさまざまな協同組合があります。また世界には、100ヵ国以上で10億人の組合員が協同組合に参加しています。

協同組合の「一人は万人のために、万人は一人のために」の精神は、ＳＤＧｓの理念である「誰ひとり取り残さない（Leave no one behinde）」に通ずるものです。

ＪＡは、地域に根ざした協同組合として、社会的役割を誠実に果たすことを通じてＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）の達成に貢献していきます。

JA KYOTO YAMASHIRO

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ＪＡ京都やましろは持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）を支援しています。

食の安全と持続可能な農業の振興

持続可能な農業の振興

適正な農薬の使用から生産者と消費者の健康と安全を守るために2021年３月を農薬使用安全月間として運動を展開します。

また、産地としての信頼を築きさらなる産地増大、ブランド力強化をはかり持続可能な農業の実現をめざします。

食の安全

ネギや茶の加工場などで、ＨＡＣＣＰに沿った国際標準の衛生管理を実施。

女性部は、2016年に食の安全に向けての取り組み宣言を行い、食の安全性を学び、次世代に引き継ぐ活動をしています。

地球環境を守り、豊かな地域社会を形成

クリーンウォークラリー

地域を散策しながら美化活動に取り組むことで、ＪＡへの結集や健康の増進をはかります。

今年は、３月６日（土）に実施します。地域全体で取り組み、暮らしやすいまちづくりに取り組みましょう。実施場所などは、お近くの支店までお問い合せください。

ＪＡくらしの活動の展開

組合員や地域住民が参加できる多様な「ＪＡくらしの活動」を展開し、豊かで暮らしやすい社会の実現に取り組みます。

連携による地域の活性化

信頼される組織運営

総代懇談会や市町村別運営協議会の定期的な開催や「あなたの声を聴かせてください運動」の展開により、組合員の声を反映させたＪＡ事業運営を行っています。

組合員組織との連携

女性部や青壮年部とＪＡ常勤役員との懇談会を実施。農業情勢やＪＡの取り組み、ＪＡへの要望事項などについて意見交換を行い、ＪＡ事業運営へ反映させています。

あとれクリップ 地域の話題

カラーをプレゼント

城陽市特産のカラーが出荷の最盛期を迎えています。

コロナ禍の影響で式典の中止が相次ぎ、昨年に続き販売先の確保が厳しい状況が続いています。これを受けて城陽南支店では、農家応援として来店者にカラーをプレゼント。地元特産品のPRと消費喚起を行いました。

来店者にプレゼント

キレイにそろえて奉納

京・はたけ菜を奉納

久御山野菜出荷組合は伏見稲荷大社の初午大祭（2月3日）に「京・はたけ菜」を奉納しました。

九条ねぎをはじめ軟弱野菜の栽培が盛んな久御山町では、2016年から京の伝統野菜であるはたけ菜の生産復興と農家所得増大をめざして栽培を始め、同祭に奉納しています。

初午大祭は711（和銅4）年に稲荷大神が稲荷山に鎮座したとされる日に催される祭礼で、京都では古くから2月の初午の日には油揚げとはたけ菜のからし和えを食べると邪気払いができ、縁起がよいという習慣があります。

㈱ジェイエイやましろファームでいちご狩りができます!

ジェイエイやましろファームでは、5棟のハウスで「紅ほっぺ」「章姫」などの品種を味わえるいちご狩りが5月中旬までお楽しみいただけます。

蛇口に触れないセンサータイプの水道や手指消毒用アルコールの設置など新型コロナウイルス感染対策をして皆さんのご利用をお待ちしています。

完全予約制です!下記までお問い合せください。

㈱ジェイエイやましろファーム
〒610-0301　井手町多賀流田19番地3
毎週㈯・㈰のみ開園!（3月中旬以降は㈬も開園）
予約受付　0774-82-5400
受付時間　9:00～15:00

真っ赤なイチゴ

料金	中学生以上	2,000円
	小学生	1,500円
	3歳以上	1,000円
食べ放題	45分間	

サークル活動の様子を動画で紹介

今年のサークル発表会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となりました。しかし、各支部ではこれまでソーシャルディスタンスの確保や換気、マスク着用など感染対策を徹底したうえで、発表会に向けて練習や手芸品の制作に取り組んできました。

そうした中、コロナ禍に負けず取り組んできた成果を発表できる場が欲しいという強い要望があり、支部ごとに活動の様子を撮影した動画を作成することにしました。撮影した動画はＤＶＤにまとめて、各支部に配付して部員の皆さんにご覧いただきます。

部員はサークル発表会本番と同じ衣装と緊張感の中で撮影に臨み、「動画を通じて活動の様子を共有できて嬉しい。完成がたのしみです」と話しています。

カメラを前にして、少し緊張

家の光 3月号 今月の読みどころ

今月は、p.35 ～ p.45「上手な服のたたみ方」です。

セーターやパーカーなど、かさばりがちな衣類の上手なたたみ方を写真で分かりやすく解説。収納のコツも紹介します。

3月号（定価 629 円）

おいしく食べよう！

今月は…
花菜と鶏肉のからし和え

材料（４人分）

花菜……１束
鶏むね肉……１/２枚
薄口しょうゆ……小さじ２
溶きからし……小さじ１弱
砂糖……小さじ１弱
酒……少々
塩……少々

作り方

1. 鶏むね肉は厚さが半分になるように切って酒・塩をふり、レンジで加熱する。加熱後、冷ましてから細かくさく。
2. 花菜を塩ゆでにして2cmの長さに切る。
3. ボールで薄口しょうゆ、溶きからし、砂糖を混ぜ合わせる。これに①、②を和えたら完成。

撮影：ＪＡ京都やましろ

げんき子あつまれ！

八幡市
上杉（うえすぎ）　大翔（ひろと）くん（9歳）

「毎日トレーニング頑張っています」

力強くきまっています

小学1年生の時に空手を始めてもうすぐ3年になります。今は、去年の秋に青帯になったので、さらに気合いを入れてお稽古に取り組み、放課後には自主トレーニングも頑張っています。

毎日、腹筋や背筋、手首を鍛えるトレーニングをしたり、1・5kmのランニングをして次の昇級試験での合格をめざしています。

特に、手首のけがを防いだりするために大切な拳立て伏せは丁寧に取り組んでいます。

僕が習っている極真空手は、相手に直接攻撃をしますが、新型コロナの影響で組手ではすこし距離をとった状態で行うようになりました。

コロナに負けずにお稽古と自主トレーニングを頑張って4年生の間に黄帯をめざします！

元気なお子さん大募集！

現在がんばって何かに取り組んでいるお子さんを募集しています。ご登場いただける方は、15ページの宛先までご連絡ください。
（自薦・他薦を問いません）

くらしと介護

「筋力アップで自立力を高める」

コロナ禍の下で不用不急の外出自粛が呼びかけられています。運動や他人とのコミュニケーションの不足した生活は、身体の衰えをもたらします。

◎筋力の低下は自立力に影響

身体の衰えの一つは筋力の低下です。高齢期を迎えると筋力はピーク時の50％～60％に低下すると言われています。特に腰から下の部分で身体を支える・歩く・座るなどの日常生活を支えるための筋肉の弱体化は、私たちの行動力を弱めていきます。これが進行すると日常生活で他人の援助が必要になり、自立力の弱体化につながります。

◎家庭でできる「スクワット」

筋力の向上を図るために体操をしましょう。「少しきついかな」と思える程度が最適と言われています。週2回～3回程度取り組むことで、筋力向上につながります。

この体操の一つとして、家庭で簡単にできる「スクワット（しゃがむこと）」がおすすめです。

机に両手を置き、足を肩幅に広げて立った姿勢から膝を曲げ、空気椅子に座るようにお尻を下げるトレーニングです。スクワットは、私たちの腰から下半身の筋肉を中心に背筋や腹筋など全身の筋肉を鍛えることができます。

筋力の向上以外にも、基礎代謝の向上、成長ホルモンやシェイプアップ効果などがあると言われています。また、身体のバランス能力を保つ簡単な体操は、片足立ちです。壁や机に手を添え、片足をしっかり持ち上げ、5～6秒間程度バランスを保つようにしてみましょう。筋力の向上は、日常生活での自立力を高めていきます。

キラリ★マイライフ

城陽市
たけしま しゅうじ
竹嶋 修二さん

『身近なものを活用』

地域で金糸細工の作品作りをされているのを見かけて、興味をもちました。もの作りが好きなので自分でも挑戦することにしました。

せっかく作るなら地元産米のPRに役立てればと思い米俵や宝船を作りました。きれいな米俵を作るために、空き缶を土台にしてみたところ、空き缶は変形しやすいので完成後に形が変わってしまうことがありました。そこで、塩ビのパイプを使うことで、型崩れせずに飾れるようになりました。

金銀糸の生産者が減り、新たな素材が手に入らなくなってきましたが、これからも身近なものを活用して金糸細工を生み出したいです。

未来を拓く協同組合
教えて！日本農業

監修＝JCA（日本協同組合連携機構）

関係人口

関係人口とは、移住でも観光でもなく、日常生活圏や通勤圏以外の特定の地域と継続的かつ多様な関わりを持つ人々を指します。具体的には、地域を定期的に訪れ、地域おこしにつながる活動の企画・運営や、援農、交流イベントの参加、飲食や趣味活動などが挙げられます。また、ふるさと納税や地場産品の購入などで地域と継続して関わる方法もあります。

人口減少や高齢化などが進む農村地域で、関係人口は地域活性化につながる役割を果たすと期待されています。関係人口の創出・拡大に向けて政府が設立した全国協議会「かかわりラボ」には、JA全中も、300超の自治体や民間団体とともに参画しています。JAグループは、ファーマーズマーケットを拠点とする交流活動、農家民泊、観光農園などを通じて関係人口の拡大を目指しています。

関係人口とは

関係人口（訪問系）

日常生活圏、通勤圏、業務上の支社・営業所訪問等以外に定期的・継続的に関わりがある地域があり、かつ、訪問している人（地縁・血縁的な訪問者を除く）

直接寄与型

産業の創出、商店街の空き店舗有効活用の活動、朝市・マルシェへの出店活動、ボランティア、地域資源・まちなみの保全活動、まちおこし・むらおこしにつながるようなプロジェクトの企画・運営、または協力・支援等

就労型（直接関与）

地元の企業・事業所での労働（地域における副業）、農林漁業への就業、農林漁業者へのサポート（援農等）

就労型（テレワーク等）

本業として普段行っている業務や仕事（テレワーク等）、訪問地域外の業務や仕事（テレワーク/副業等）

参加・交流型

地域の人との交流やイベント、体験プログラム等に参加

趣味・消費型

地縁・血縁先以外で、地域での飲食や趣味活動等を実施（他の活動をしていない）

関係人口（非訪問系）

ふるさと納税、クラウドファンディング、地場産品等購入、特定の地域の仕事の請け負い、情報発信、オンライン活用

国土交通省資料より作成

耕そう、大地と地域のみらい。

農薬は登録された作物以外には使用できません！

農薬使用安全運動を実施!　JAでは3月1日から31日までを農薬使用安全運動実施期間と定め、取り組みを展開しています。下記のことを再度確認して徹底しましょう。

ラベルに記載された注意事項を確認し、用法・容量は必ず守りましょう。
知識不足やミスによる残留基準値の超過、無登録農薬の使用などが発生すると、その生産者のみならず産地全体に悪影響を及ぼすおそれがあります。
農薬は正しく安全に使いましょう!

安全・安心な農産物づくりのため 守ろう！3つの基本

❶安全は日ごろの管理から
- マスク、手袋、メガネ、防除衣の着用
- 使用後は散布危惧の洗浄を徹底
- 農薬は安全な場所に鍵をかけて保管
- 農薬の誤用、誤飲、誤食などを避けるため他の容器に移し替えない

❷農薬の適正利用と生産履歴記帳の徹底を
- 最新の使用方法を確認して使用
- 使用日、場所、作物名、農薬名、使用量、希釈倍数をしっかり記帳

❸周辺環境への配慮も忘れずに
- 周辺作物への農薬散布防止（風向き・散布圧に注意）
- 住宅周辺での農薬散布防止、散布の周知
- 水田での農薬使用後７日間は落水、かけ流しをしない
- 耕種的防除で農薬使用を減らす工夫をする

農薬の使い方や適用作物についてご不明な点は、お近くの支店にご相談ください

直売所 イベント情報

五里五里市……☎0774-53-0072
3日、ひな祭りのちらし寿司の販売とカラーをプレゼント。17日~21日、ぼたもちを販売。お彼岸用のお花もたくさんご用意してお待ちしています。

四季彩館……☎075-983-8181
3日、ひな祭りには「こだわり米」割引券をプレゼント。お彼岸フェアでは、タマネギやお茶をプレゼント。そのほか、切り花や鉢物をたくさんご用意してお待ちしています。

にこにこ市……☎0774-63-6677
17日~23日、春のお彼岸フェアを開催。スプレー菊、おはぎ等をご用意してお待ちしています。

なごやか市……☎0774-82-2046
13日、お彼岸フェアを開催。仏花や季節のくだもの、野菜を特別価格で販売。24日、お楽しみデー。25日、ポイント2倍デー。

307ふる郷市・宇治茶の郷……☎0774-88-2629
3日、ひな祭りのちらし寿司を数量限定で販売。17日~23日、お彼岸の切り花が多数。20、21日、ポイント2倍デー。お茶のプレゼントもあります!

グリーンマーケット精華……☎0774-94-5698

愛菜館……☎0774-72-5459
精華町産朝採りの真っ赤な完熟イチゴが旬です。花菜やタケノコなど春を味わいにご来店ください。

花野果市……☎0774-72-0080
お彼岸のお花が多数。10、17日、ポイント2倍デー。20日、はつか市でお買得コーナーを設置。

ジャンボタニシによる水稲の被害を防ぐために

地域一斉防除へのご協力をお願いいたします

ＪＡ管内でも、暖冬の影響からジャンボタニシの越冬個体数が増加しています。適切な防除対策を実施して越冬個体数を減らしましょう。地域ぐるみの取り組みが大切です。

（出典：農林水産省ＨＰ）

田植え前に取り組み、発生を減らしましょう。

①土壌を細かく砕くような耕うんで、貝の物理的な破壊を行う。
②越冬場所を無くすために、水路の泥上げをする。
③農機具は作業後に土と貝を落として移動する。

詳細やご不明な点は、お近くの支店にご相談ください

組合員満足向上運動
JA京都やましろ
あなたの声を聴かせてください

「あなたの声を聴かせてください」運動の主な内容

「あなたの声を聴かせてください」運動を通じて組合員や利用者の皆さんのさまざまなご意見・ご要望をいただき、事業運営に反映させていただきます。

定期積金の通帳は1年満期だとページがたくさん余るので、もったいないと思います。もっと改善できるのではないですか。

定期積金をご利用いただきありがとうございます。自動振替による定期積金通帳につきましては全国統一のため現在の様式になっておりますが、環境保護や費用削減のため、お客様からの貴重なご意見を上部団体に要望いたします。

キャンペーン定期の抽選で「季節の野菜詰め合わせ」をいただきました。ありがとうございました。

合併25周年定期をご利用いただきありがとうございました。これからも、皆さんに喜んでいただける取り組みをしますので、ぜひ、ご利用くださいますようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症の影響により、第24回JA京都やましろのつどい『森山良子コンサート』が中止になり、残念でした。
2021年度もコンサートは企画していただけますか。

いつもご利用いただきありがとうございます。2021年度もよりお楽しみいただける企画を検討させていただきます。

コロナ禍の影響で2020年のお茶農家は大変厳しい結果となりました。
2020年度の各種補助金については、JA担当者に助けてもらいありがたかったです。
2021年度は補助金があるか分かりませんが、JAの2021年度のお茶対策はどのように考えていますか。

2021年産茶においても、コロナ禍の影響を受けて、厳しい状況が続くと予想されます。
JAとして、引き続き、コロナ支援が受けられるように、行政機関に働きかけを行います。また、JA自ら販売先を確保し、積極的な買い支えができるように全力で取り組んでまいります。

JAの近況

	2021年1月末	2020年1月末
組合員数	31,761人	32,161人
第1号組合員	13,568人	11,774人
第3号組合員	18,193人	20,387人
貯金残高	3,578億3,379万円	3,488億3,616万円
貸出金残高	464億0,916万円	453億7,780万円
長期共済保有高	6,831億4,140万円	7,072億5,254万円
販売品取扱高	46億6,940万円	57億4,713万円
購買品供給高	23億8,461万円	28億2,093万円

理事会報告

（2021年1月29日開催）

（協議事項）
- 持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、積極的に取り組むため「取り組み宣言」を行うことについて協議決定しました。
- 京都府の京野菜生産加速化事業を活用し、パイプハウスリース事業を実施することについて協議決定しました。
- 2021年3月を運動期間と定め、農薬事故防止に向けた啓蒙を行うことについて協議決定しました。
- 水稲害虫スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の一斉防除に向けて運動方針を定め、駆除を行うことについて協議決定しました。
- ネギ育苗事業・ネギ調整包装施設の経営改善に取り組むことについて協議決定しました。
- メール配信を利用することで迅速に営農情報を提供し、農業者への営農支援をタイムリーに行うことについて協議決定しました。

3月の各種無料相談日など

相談日は変更になる場合がございます　**予約制**

- 予約制です。各開催日の1週間前までに支店備え付けの申込書にご記入のうえ、窓口でお申し込みください。
- 定員になり次第締め切らせていただきます。お申し込み後のキャンセルはご遠慮ください。

法律相談			
中川泰臣弁護士	10日（水）9:00～本店	近畿合同法律事務所所属弁護士	24日（水）9:00～本店

確定申告時期のため、税務相談はお休みとさせていただきます。

お困りごとはまず、JA総合相談窓口へ

JAは総合事業の強みを活かして、皆さんのお困りごとの解決に向けてお手伝いする総合相談窓口を各支店に設置しています。まずは、JA各支店にご相談ください。

お知らせ

㈱ジェイエイやましろファーム　研修生募集

ジェイエイやましろファームでは、将来、農業で独立するため農業生産に取り組もうとする元気で明るい方を募集しています。

募集内容

研修場所　京都府綴喜郡井手町多賀流田19-3

研修時間　８：30～17：00（季節により変動有）

募集資格

（１）心身ともに健康であること
（２）農業に対する強い意志と意欲がある新規就農希望者や農業後継者
（３）育成期間終了後もＪＡ京都やましろ管内に居住し就農できる者
（４）農の雇用事業又は農業次世代人材投資事業（準備型）の要件を満たすこと

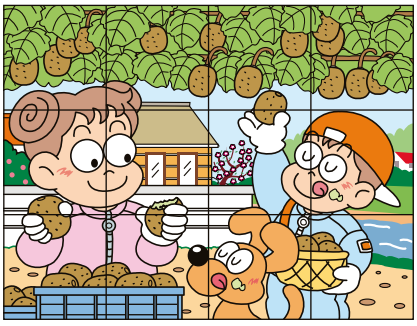
詳しい内容につきましては下記へお問い合せください。

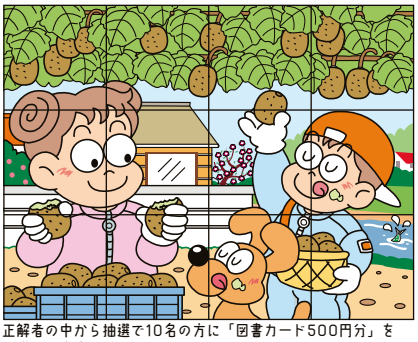
ＪＡ京都やましろ　営農部（担当：辻尾）
ＴＥＬ：0774-62-5890
＜お問い合せ時間　９時～17時（土・日・祝除く）＞

ＪＡでは2013年から農業経営者の育成や地域特産物の研究・開発と振興を目的に「株式会社ジェイエイやましろファーム」を設立しました。

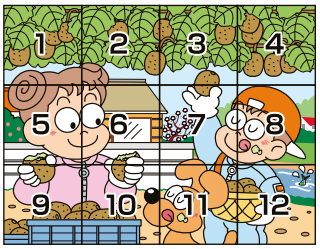
同社では現在までに５人の研修生を受け入れ、３人が独立し、山城地域の農業発展に貢献しています。

まちがいさがし





正解者の中から抽選で10名の方に「図書カード500円分」をお送りします。



下のイラストには上のイラストと違う部分が５カ所あります。間違っている部分を左の枠内の数字で探してください。

前回の答え「3,5,6,11,12」でした。

応募締切は**3月15日**です

第24回 やましろの四季 フォトコンテスト 入選作品のご紹介

佳良賞

「菜ノ花摘み」

福島 一芳さん

撮影場所・京田辺市

おたよりコーナー

あとれ310号より 組合員 MESSAGE

お父さん自慢の冬野菜。葉物はよく虫に喰われましたが、大根は立派に育ち、大晦日に小芋と甘味噌と手作り味噌でことこと一晩炊きました。元日の朝、「さあ、おもちを入れていただこう」としたら、大根がゴリゴリ。あんなに白くて傷もなかったのに不出来だったようです。おもちと小芋はなんとかおいしかったです。

京田辺市　所川和美さん

本年も「あとれ」を楽しみにしています。去年は、主人と山登りを楽しみました。山頂をめざして苦しいときもありますが、登りきったら気持ちいいものですね！

宇治田原町　大橋美鈴さん

「おいしく食べよう」の記事を参考に晩ごはんの一品を考えています。毎日のおかずを考えるのがマンネリ化しているから嬉しい記事です。今年は干し柿がうまく作れておいしく食べています。自然の味は何とも言えないです。元気の素です。

木津川市　今井清美さん

2020年は年明けから新型コロナが猛威をふるった一年でした。今年は心配しない年でありますように。

和束町　奥　かづみさん

このコーナーが大好きです。わたしも絵がうまかったら描くんだけれど…。

久御山町　木村江里さん

猿丸さん参拝の帰りに「宇治茶の郷」に立ち寄りました。店頭でお茶の接待を受け、友人に再会。そして、店内で手に取ったわさび菜の生産者ラベルは幼なじみ、古老柿と椎茸には同級生、トマトにはいとこの名前がありました。「宇治茶の郷」は宇治田原のおいしい産物とともに過ぎ去りし日々を思い出させてくれました。次回はどんな出会いがあるのかな。

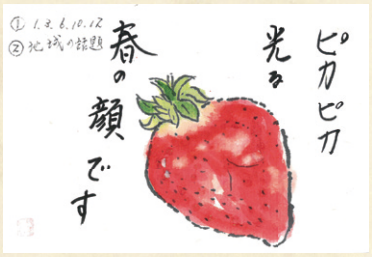
城陽市　鈴木恵美子さん

コロナ禍でも洗い場には淀大根がキレイに並んでいます。冬の厳しい寒さの中でも立派に育つ淀大根に生命力の強さを感じます。

久御山町　山田保子さん

動きが鈍くなった私。春に向かって畑仕事。コロナに負けず、ぼちぼち頑張ります。

精華町　堀岡保子さん



宇治市　池本とめ子さん

木津川市　中野福一さん

宇治田原町　田和八重子さん

井手町　古川雅子さん

京田辺市　菊岡三美子さん

クイズの答え・お便り・イラストなどはこちらまで　（敬称略）

※お寄せいただきましたお便り、eメールの個人情報につきましては、おたよりコーナーの目的以外には、使用いたしません。

①クイズの答え
②関心を持って読んだ記事
③お便り・イラスト・写真など
おたよりコーナーなどで紹介する場合があります。
（ハガキ裏面）

610-0331
京田辺市田辺鳥本1の2
JA京都やましろ
ふれあい課　宛
あなたの住所
氏名

eメールアドレス：atore@ja-yamasiro.com

当選者発表　（310号）

宇治市　子代代奈美子子詞代久
城陽市　文茂一愛早恭淳賢久隆
久御山町　本子井月田本保西城本
宇治田原町　岡金岡望山松久中長松
精華町　木津川市村
木津山城
南

表紙写真

城陽市でカラーを生産する岡井雄次さん。出荷の最盛期を迎えています。

編集後記

3月31日まで、第25回やましろの四季フォトコンテストの作品を募集しています。応募用紙を各支店に設置していますので、ふるってご応募ください。　（も）

あとれ 2021.3 vol.312

発行責任者：代表理事専務　森田　春生
発行：京都やましろ農業協同組合

〒610-0331 京都府京田辺市田辺鳥本1番地2
TEL(0774)62-1200[代表] FAX(0774)62-8610

地域応援定期貯金

募集期間 2021.3.1(月)→3.31(水)

ご契約特典

特典1 京都府産碾茶

期間中に、
新規・書換・継続記帳
いただいたお客様全員に
プレゼント！

特典2 やましろ産季節の新鮮お野菜

期間中に新規資金10万円以上
お預入れいただいた方。
または、10万円以上増額での
書換いただいた方の中から抽選で
250名様にプレゼント！

※特典2については2021年5月末時点での残高を確認し抽選を行います。
　当選されたお客様へは引換券を発行し、6月下旬各支店でのお渡しといたします。
※詳しくはお近くの支店窓口までお問い合わせください。

対象商品 スーパー定期貯金

＊新規お預入れ（1口あたり）10万円以上お預け入れいただいた方。
＊期間中満期を迎えた定期貯金に10万円以上増額して書換された方。
＊期間中に満期を迎えた定期貯金を継続し記帳された方。
　（1年物、自動継続、個人に限る）

どなたさまでも
お預入れ
いただけます！

中宇治支店 ☎0774-22-1241	城陽南支店 ☎0774-53-0070	井手町支店 ☎0774-82-2613	山城支店 ☎0774-86-2276
西宇治支店 ☎0774-21-2138	久御山町支店 ☎075-631-3354	宇治田原町支店 ☎0774-88-2034	加茂支店 ☎0774-76-2063
東宇治支店 ☎0774-32-2550	八幡市支店 ☎075-981-1315	精華町支店 ☎0774-94-2103	和束町支店 ☎0774-78-2013
城陽支店 ☎0774-53-0050	京田辺支店 ☎0774-62-1177	木津支店 ☎0774-72-1771	南山城村支店 ☎0743-93-0301

食と地域のパートナー JA京都やましろ
本店信用部　☎0774-62-9355
http://www.ja-yamasiro.com/

Copyright© 2011 Kyoto Yamashiro Agricultural Cooperative All Right Reserved.